

令和5年度 組織目標（実績）

所属 部・局 企画財政部

【企画財政部 行動指針】

- 官民共創による移住定住・関係人口の創出など人口減少時代に選ばれるまちづくりに向けた歩みを進めます。
- 第7期宮津市総合計画、財政健全化に向けた取り組みを検証し、宮津の未来づくりに向けた取り組みを進めます。

No.	組 織 目 標	ページ
【第7次宮津市総合計画】		
1	関係人口創出・拡大、移住・定住促進（「深い関わりで幸福の熱量を高めるまち」「移住者と地域住民とのふれあいで地域に新たな活力を生むまち」を目指して） 【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】	P1
2	地域コミュニティ、市民協働（「地域コミュニティが充実し、人が元気で輝けるまち」「様々な立場の人々が一緒になり、互いの理解・尊重・信頼で、みんなが活躍できるまち」を目指して） 【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】	P7
3	海の活用（「宮津の海の資源を活かした魅力的な海のまち」を目指して） 【宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト/地域経済力が高まるまちづくり】	P8
4	シティプロモーション（「地域の宝(ヒト・モノ・コト)の誇りが育まれ、選ばれるまち」を目指して）【住みたい、住み続けたいまちづくり】	P9
5	公共交通（「誰もが移動しやすいまち」を目指して） 【安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり】	P10
6	文化・スポーツ振興（「豊かな心と体が育まれる文化芸術・スポーツのまち」を目指して）【ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり】	P11
7	計画の進捗管理	P14
8	「第2期行財政運営指針」に基づく安定した行財政基盤の構築	P15

1	<p>関係人口創出・拡大、移住・定住促進（「深い関わりで幸福の熱量を高めるまち」「移住者と地域住民とのふれあいで地域に新たな活力を生むまち」を目指して）</p> <p>【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/ 住みたい、住み続けたいまちづくり】</p> 	<p>企画課移住定住・魅力発信係</p>	<p>中間点検（9月）</p>	<p>実績（3月）</p>
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 都市部からの人の流れを生み出すとともに、地域の事業者や住民との交流により、関係人口の創出・拡大と地域活性化を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 80人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携の取組みによる市内への大学生等の受入</li> <li>・都市部人材の活用（複業フェロー等）</li> </ul> </li> <li>○ クロスワークセンターの利用の増 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総利用者数 R4 3,852人 → R5 4,000人</li> <li>・通常利用者数（イベント利用を除く利用者） R4 1,972人 → R5 2,520人</li> <li>・イベント数 R4 113回 → R5 100回</li> </ul> </li> </ul> <p>※「施設認知度向上」のための取組みを、「関係人口づくり」や「コミュニティの創出」等の本来目的のイベント等にシフトし、質的向上を図る</p> <p><b>《参考》 ■ 第7次宮津市総合計画数値目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークーション等拠点数・利用企業数 R元：一箇所 ⇒ R4：5箇所12社 ⇒ R7：5箇所10社</li> <li>○ 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元：44人 ⇒ R4：85人（2大学25人＋副業人材等60人） ⇒ R7：延べ300人</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クロスワークセンター入居企業と地域との交流・共創機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の増に向けた取組の促進</li> <li>・入居企業と地域との交流機会の拡大</li> </ul> </li> </ul>		<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 0人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携の取組みによる市内への大学生等の受入 0人</li> <li>・都市部人材の活用（複業フェロー等） 0人</li> </ul> </li> <li>○ 前尾記念クロスワークセンター利用者（R5.9現在） <ul style="list-style-type: none"> <li>・総利用者数 2,777人（年間目標の約69%の水準）</li> <li>・通常利用者数 1,782人（" 71%の水準）</li> <li>・イベント数 93回（" 93%の水準）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>《参考》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イベントに関しては、今年度は地域事業者との共催企画を多数実施（41回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに小中高生向けのイベントを取り入れ、これまで接点の少なかった層へアプローチし、通常利用者数が増加</li> </ul> </li> <li>○ 宮津天橋高校との連携により、「総合的な学習の時間」における「探究活動」に参画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生と地域とをつなぐ取組を支援し、シビックプライドの向上等に向けた取組を推進</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クロスワークセンター入居企業と地域との交流・共創機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リージョナルフィッシュ（株） CWC主催の交流イベントに参加、地元事業者と交流</li> <li>・京都府立大 9月23日 「出前キャンパスin宮津」を実施し、府大生と市内高校生の交流を実施 11月6日～ 府内のACTRの研究結果のパネル展実施</li> <li>・大和学園 5月 地域コミュニティ活性化演習に登壇</li> <li>・SOARIG 今年度から週1で宮津担当スタッフが着任、IT相談を随時実施（予約制）</li> <li>・サザエジャパン 10月に地元企業向けのDXイベントを実施</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 95人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携の取組みによる市内への大学生等の受入 82人</li> <li>・都市部人材の活用（複業フェロー等） 13人</li> </ul> </li> <li>○ 前尾記念クロスワークセンター利用者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総利用者数 6,463人（目標達成率 162%）</li> <li>・通常利用者数 3,750人（目標達成率 149%）</li> <li>・イベント数 178回（目標達成率 178%）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ クロスワークセンター入居企業と地域との交流・共創機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リージョナルフィッシュ（株） CWC主催の交流イベントに参加、地元事業者と交流</li> <li>・京都府立大 9/23「出前キャンパスin宮津」開催。府大生と市内高校生の交流を実施 11/6～ 府内のACTRの研究結果のパネル展を実施</li> <li>・大和学園 5月地域コミュニティ活性化演習にFB登壇 ・地域資源を活用した地域体験ツアーの紹介。 秋 学生がCWCについて取材に来館留学生とのフィールドワーク誘致・交流実施</li> <li>・SOARIG R5から週1で宮津担当スタッフが着任 ・IT相談を随時実施（予約制） 11月高校生向けIT/DX/AIセミナー開催（12人参加） ・高校生のITへの関心増と企業の地域内認知を図る。 2月 Instagram運用術セミナー開催</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係人口創出のためのイベントの実施（ツアー等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・お試しワーケーションツアー等の関係人口向けツアーの造成・実施</li> </ul> </li>   <li>○ ふるさと納税における旅行商品の造成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー商品（関係人口向け）のふるさと納税返礼品への登録（農泊体験、空家DIY ツアーなど）</li> <li>・スマウト等のサイトを活用した関係人口への情報発信</li> </ul> </li>   <li>○ MIYAZU 未来デザインセンターの外部人材活用事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光DX等への複業フェローの活用等</li> </ul> </li>   <li>○ 高大連携事業（MIYAZU クロスキャンパスプロジェクト）の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府立大学との連携の推進（高大連携の具体化に向けた市内高校のニーズ把握＋試行実施）</li> </ul> </li>   <li>○ 大学・地域連携プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と地域との連携による課題解決の取組の推進</li> </ul> </li>   <li>○ リカレント教育に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・府生涯現役クリエイティブセンターとの連携による講座等の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係人口創出のためのイベントの実施（ツアー等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家DIY×まちづくりツアー</li> <li>・京産大学府中地区耕作放棄地活用ツアー</li> <li>・福知山大学インターンシップツアーなどを開催 ⇒ 92人参加</li> </ul> </li>   <li>○ ふるさと納税における旅行商品の造成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー商品（関係人口向け）のふるさと納税返礼品への登録を実施</li> <li>※ 通常の旅行商品を優先して登録 農泊体験、空家DIY ツアー等は、現時点で出品なし</li> </ul> </li>   <li>○ MIYAZU 未来デザインセンターの外部人材活用事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月からの観光DXの副業フェロー活用事業実施に向けて調整中</li> </ul> </li>   <li>○ 高大連携事業（MIYAZU クロスキャンパスプロジェクト）の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月23日 京都府大連携事業「出前キャンパスin宮津」開催 高校生4人、大学生14人、大学教員4人参加</li> <li>・高大連携の具体化に向けた市内高校のニーズ調整中 宮津天橋高の総合的な学習の時間への参画可能性を検討中</li> </ul> </li>   <li>○ 大学・地域連携プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日置地区：世代間交流促進を通じたコミュニティ活性化等について事業実施に向けて京大と調整中</li> </ul> </li>   <li>○ リカレント教育に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.9、事業未実施。京都府生涯現役クリエイティブセンターと協議</li> <li>・事業展開にあたっては、今後、住民等のニーズ把握を行う必要があると認識</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員10人/参加者17人。</li> <li>・サザエジャパン 10月「ローコードツールを用いた中小企業DX戦略のご紹介」を開催（参加者14人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアでのローコード/ノーコードツールの活用事例。地域企業と交流会も実施。</li> </ul> </li> <li>・スターマーク 1月～5月「CROSSING ラウンジ」交流イベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回約10人前後の参加者あり。CROSSING 海の京都スタジオにて「打ち手会議宮津」を6回開催。最多再生数は292回</li> </ul> </li> <li>10月 福知山公立大学インターンの映像作成</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係人口創出のためのイベントの実施（ツアー等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家DIY×まちづくりツアー</li> <li>・京産大学府中地区耕作放棄地活用ツアー</li> <li>・福知山大学インターンシップツアーなどを開催 ⇒ ツアー11回、地域外参加者58人、協力事業者30社以上、総関与数126人</li> </ul> </li>   <li>○ ふるさと納税における旅行商品の造成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー商品（関係人口向け）のふるさと納税返礼品への登録を実施</li> <li>※ 通常の旅行商品を優先して登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫体験や体験と宿泊のセット品：6品</li> <li>・農泊体験、空家DIY ツアー等は、出品なし</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>○ MIYAZU 未来DCの外部人材活用事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/17 MIYAZU 未来デザイン会議の開催</li> <li>・関西電力のオープンイノベーションの取組み</li> </ul> </li>   <li>○ 高大連携事業（MIYAZU クロスキャンパスプロジェクト）の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9/23 京都府大連携事業「出前キャンパスin宮津」開催 高校生4人、大学生14人、大学教員4人参加</li> <li>・高大連携の具体化に向けた市内高校のニーズ調整 宮津天橋高の総合的な学習の時間への参画、更なる連携の可能性を検討</li> </ul> </li>   <li>○ 大学・地域連携プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日置地区：結果的に実施に至らず</li> </ul> </li>   <li>○ リカレント教育に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業未実施。京都府生涯現役クリエイティブセンターと協議に留まった。本市において、リカレント教育の必要性の分析は継続して行う必要あり。</li> </ul> </li> </ul>
--	---	--	---

<p>運営目標</p>	<p>②</p> <p><b>【施策】</b> 移住者数の増に向けた取組み</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の政策により移住した人の人数 R4 14世帯20人 → R5 20世帯30人</li> <li>○ 社会増減（転入者－転出者）の人数 R3 △117人 → R4 ○人 → R5 △100人</li> <li>○ 京都府移住特別促進区域の指定数 R4 8地区 → R5 10地区（全地区）</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住定住対策推進本部における追加施策等の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部会議は四半期ごと、戦略チームは毎月実施</li> <li>・R6当初予算に向け、データ分析等に基づく追加施策の検討を実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○ 京都府移住特別促進区域の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域との協議を進め、移住促進特別区の指定を目指す（市内全地区）</li> <li>・既に指定された地域では、移住促進に向けた取組を進める（各地域に職員が入り、地域の状況を把握しながら取組を進める）</li> </ul> <p>○ 新婚世帯、子育て世帯へのすまい支援の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新婚世帯、子育て世帯への制度周知を進め、活用を促進（フリーペーパーやSNS、建築業者等を活用し、近隣市町への情報発信強化）</li> </ul> <p>○ 東京圏からの移住創出に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府ジョブパーク等を活用した東京圏への情報発信の強化</li> <li>・移住支援金対象事業者への市内企業の登録推進（商工会議所等と連携し、市内企業への制度説明、制度周知等を実施）</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の政策により移住した人の実績 R4 14世帯20人 → R5.9 13世帯17人（目標の約57%の達成水準）</li> <li>○ 京都府移住特別促進区域の全地区指定に向けた取組 由良・日置地区と特区指定に向けた協議を実施中（R5は、地区役員との勉強会を実施中）</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住定住対策推進本部における追加施策等の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部会議は2回実施、戦略チームは1回実施（R6予算編成前に会議開催予定）</li> <li>・データ分析等に基づく移住定住施策検討に向けたアンケートの実施を予定中（R5.10月予定）</li> </ul> </li> </ul> <p>○ 京都府移住特別促進区域の全地区指定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未指定の由良・日置2地区は、特区指定に向け協議中</li> <li>・既に指定された地区では、地区の考えを重視しながら具体的な取組を実施中 ⇒みやづまち、吉津、日ヶ谷地区においては空き家の掘り起こし等を実施中</li> </ul> <p>○ 新婚世帯、子育て世帯へのすまい支援の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知に向けた取組を実施中（具体的には） 宮津市内向け …制度の各戸配付を実施 不動産事業者向け …制度を周知し、利用者への案内を依頼 市外向け …フリーペーパーによる周知検討</li> </ul> <p>○ 東京圏からの移住創出に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在未着手、下半期に取り組み。</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の政策により移住した人の実績 R4 14世帯20人 → R5 22世帯31人</li> <li>○ 社会増減（転入者－転出者）の人数 現時点で不明</li> <li>○ 京都府移住特区の全地区指定に向けた取組を実施 現在、由良・日置地区と特区指定に向けた協議を実施（R5は、地区役員等との勉強会を実施）</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住定住対策推進本部における追加施策等の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部会議は3回実施、戦略チームは2回実施</li> <li>・データ分析等に基づく移住定住施策検討に向けたアンケートの実施</li> <li>・アンケート等に基づく新たな施策等の予算化（具体化事例） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと市民制度</li> <li>・市民共創型シティプロモーション</li> <li>・城東タウンを活用した滞在拠点づくり</li> <li>・空き家バンクの充実（民間不動産物件の掲載）</li> <li>・ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した事業者支援制度</li> <li>・無料の託児サービスの充実 など</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>○ 京都府移住特別促進区域の全地区指定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未指定の由良・日置2地区は、特区指定に向け協議</li> <li>・吉津、日ヶ谷地区においては空き家の掘り起こし等を実施 →掘り起こした空家の利活用策について手法検討中</li> </ul> <p>○ 新婚世帯、子育て世帯へのすまい支援の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知に向けた取組を実施 宮津市内向け … 広報誌、ちらしの各戸配付 不動産事業者向け … 事業者訪問し、制度周知・利用者への案内を依頼 市外向け … フリーペーパー等による周知を検討したが未実施（R6 検討継続）</li> </ul> <p>○ 東京圏からの移住創出に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5未着手</li> </ul>
-------------	---	---	--

	<p>○ 定住促進団地（つつじが丘）の販売強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじが丘購入への支援制度を創設</li> <li>・販売ターゲットの拡大 （特に近隣市町や二地域居住向けにターゲットを拡大し、情報発信強化）</li> <li>・建築事業者への情報提供及び宣伝依頼</li> </ul> <p>○ 情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーション戦略に基づく市の施策の情報発信力の強化 （移住定住戦略チーム等で、シティプロモーション戦略の勉強会を実施の上、具体的な情報発信の方法や工夫を検討・実施 ※ 専門家派遣等の活用により、庁内の勉強会を実施）</li> <li>・マーケティング手法の活用による、ターゲットに即した情報の発信 （ターゲットを明確に定め、どのような価値を提供するのか、を意識した情報発信の実施）</li> </ul> <p>○ 動画撮影ワークショップの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域（移住特区を想定）との協働による移住 PR 動画の撮影</li> </ul> <p>○ 移住コンシェルジュの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信から案内、移住後のフォローまで含めた体制の構築</li> <li>・地域の情報集約及び情報のとりまとめを実施（集落の教科書等） （R5 はスタートアップ期間とし、特に地域・事業者との連携を重点的に実施）</li> </ul>	<p>○ 定住促進団地（つつじが丘）の販売強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知に向けた取組みを実施中 （具体的には） 宮津市内向け … 制度の各戸配付を実施 不動産事業者向け … 制度を周知し、利用者への案内を依頼 市外向け … フリーペーパー等による周知を検討</li> </ul> <p>○ 情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS による情報発信力の強化、職員のスキルアップに向けて庁内勉強会の実施を検討 （現在、コトカタリ社と調整中）</li> <li>・別途マーケティング手法を活用した情報発信力の強化に向けて「移住定住戦略チーム」において庁内勉強会を実施予定</li> </ul> <p>○ 動画撮影ワークショップの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7 月～ 吉津地区において移住動画制作ワークショップを開催</li> <li>・9 月 撮影実施</li> <li>・11 月 上映会開催予定</li> </ul> <p>○ 移住コンシェルジュの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月1日より、コンシェルジュサービススタート</li> <li>・相談実績 28 件 33 人（7 月～9 月）</li> <li>・移住相談実態に応じ、「空き家バンク」の改善（民間物件の掲載等）が急務と判断し現在、空き家バンクの制度改正に向けた検討を実施中（R6.4 改正を目指す）</li> </ul>	<p>○ 定住促進団地（つつじが丘）の販売強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度周知に向けた取組みを実施 （具体的には） 宮津市内向け … 広報誌、ちらしの各戸配付 不動産事業者向け … 事業者訪問し、制度周知。利用者への案内を依頼 市外向け … フリーペーパー等による周知を検討したが未実施 宮津市公式 note でつつじが丘での暮らしをを記事化（FB 社委託事業） その他 … つつじが丘団地内のぼり設置</li> </ul> <p>○ 情報発信力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS による情報発信力の強化、職員のスキルアップに向けて庁内勉強会の実施</li> </ul> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・SNS 発信研修会開催</li> <li>・内容：広報・SNS 発信研修（講習とグループワーク） 37 名参加</li> </ul> <p>○ 動画撮影ワークショップの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉津地区と市職員との協働による移住 PR 動画の撮影 令和 5 年度京都広報賞 知事賞（映像の部）受賞 令和 6 年度全国広報コンクール 入賞</li> <li>・令和 5 年 7 月 映画制作を行う地域を「吉津地区」に決定、オリエンテーションの開催、シナリオづくりワークショップの開催</li> <li>・令和 5 年 8 月 シナリオづくりワークショップの開催（2 回目）</li> <li>・令和 5 年 9 月 地域の皆さんによる撮影</li> <li>・令和 5 年 11 月 市民向け、地区住民向け映画上映会、トークセッション</li> </ul> <p>○ 移住コンシェルジュの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 69 件、総相談回数 94 回、空き家バンク内覧対応件数 18 件</li> <li>・情報発信から案内、移住後のフォローまで含めた体制の構築</li> <li>・地域の情報集約及び情報のとりまとめを実施（集落の教科書等）</li> <li>・R5 はスタートアップ期間とし、特に地域・事業者との連携を重点的に実施）</li> <li>・50～70 代、単身・夫婦層からの相談が多いため、移住相談のターゲットを若年層にするように取組を充実していく</li> </ul>
--	--	--	---

<p>運営目標</p>	<p>③</p> <p><b>【施策】</b> 空き家の活用の促進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家バンク登録数 R4 14件 → R5 30件</li> <li>○ 管理不全な空家の解消率 69.8% (H28-R4) → 70% (H28-R5)</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ぐるみでの空家の掘り起こしの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住特区の取組において、各地域で空家の掘り起こしを実施 (空家マップの作成、地域から所有者への声掛けの実施など)</li> </ul> </li> <li>○ 空き家バンクの情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家バンクのパンフレットの刷新（見やすいパンフレットの作成）</li> <li>・ 各地域等を通じた住民や空家所有者への情報発信の強化</li> </ul> </li> <li>○ 空き家マッチング制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空家所有者と事業者との情報連携の仕組みを検討・構築</li> </ul> </li> <li>○ 空家活用モデルの構築及び情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空家活用モデル構築</li> <li>・ 地域や事業者への情報発信（展示会や報告会等の実施）</li> </ul> </li> <li>○ 住まいの終活等の啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住特区等と連携した各地域でのセミナー等の実施</li> </ul> </li> <li>○ 管理不全空家の状況把握及び所有者等への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的（年3回以上）な状況把握の実施</li> <li>・ 所有者等への継続した働きかけの実施</li> <li>・ 空家特措法の改正に基づく「管理不全空家」の認定基準の策定及び空家空地対策計画の見直し</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家バンク登録数 R4 14件 → R5.9 現在 8件（目標の約27%の達成水準）</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ぐるみでの空家の掘り起こしの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みやづまち、吉津地区、日ヶ谷地区の移住特区で、空き家の掘り起こしに向けた調査を実施中</li> </ul> </li> <li>○ 空き家バンクの情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5.7 広報みやづにより空き家バンク登録促進の住民周知を実施</li> <li>・ R5.9 空き家バンクパンフレットの刷新、各戸配付を実施</li> <li>・ 空き家所有者への意向調査等でのパンフレット配布を予定</li> <li>・ 空き家バンク制度の見直し（民間物件の掲載）に向けスキーム検討中 (R6.4月改正を目指す)</li> </ul> </li> <li>○ 空き家マッチング制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家バンク制度の見直しとセットで制度構築中</li> </ul> </li> <li>○ 空家活用モデルの構築及び情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5.6 補正で空家活用モデル事業の予算計上</li> <li>・ サブリース方式部門で「多地域居住用シェアハウス」の活用について1件応募。9月に審査会を実施し補助金交付等の対応中</li> <li>・ R6.2 頃、地域や事業者へ展示会や報告会等の実施、広報誌等での広報を予定</li> </ul> </li> <li>○ 住まいの終活等の啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋北地区1回、南部地区1回、各地域でのセミナー等の実施調整中</li> </ul> </li> <li>○ 管理不全空家の状況把握及び所有者等への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会等からの通報により、随時状況を確認し、所有者等へ継続した適正管理の働きかけを実施</li> <li>・ R5.5～8、空家実態追加調査を108件実施（うち空家と思われるもの26件）</li> <li>・ 今後、空き家の利用状況・ニーズを把握し、空き家バンクの登録など空き家の利活用につなげる。</li> <li>・ 「空家特措法の改正」に基づく「管理不全空家」の認定基準、ガイドライン策定中。これを踏まえ、空家空地対策計画の見直し、条例改正、管理不全</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空き家バンク登録数 R4 14件 → R5 14件（目標達成率47%）</li> <li>○ 管理不全な空家の解消率 69.8% (H28-R4) → 74.4% (H28-R5)</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吉津、日ヶ谷地区において空家の掘り起こし等を実施 →掘り起こした空家の利活用策について手法検討中</li> <li>○ 空き家バンクの情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5.7 広報誌で空き家バンク登録促進の住民周知を実施</li> <li>・ R5.9 空き家バンクパンフレットの刷新、各戸配付を実施</li> <li>・ R6.2 空き家バンク制度の見直し（民間物件の掲載）に向けて市内宅建事業者に了承を得た（R6.7月改正を目指す）</li> </ul> </li> <li>○ 空き家マッチング制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5 未着手、研究継続</li> </ul> </li> <li>○ 空家活用モデルの構築及び情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集期間 7/18～8/15</li> <li>・ 応募状況 自由テーマ部門 0件 サブリース部門 1件 ⇒ 採択 ⇒ 取下</li> </ul> </li> <li>○ 住まいの終活等の啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今から考える「住まいの将来講座」2回開催 (1/23 南部 33人、3/19 北部 11人、計44人)</li> </ul> </li> <li>○ 管理不全空家の状況把握及び所有者等への働きかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会等からの通報により、随時状況を確認し、所有者等へ継続した適正管理の働きかけを実施</li> <li>・ R5.5～8、空家実態追加調査を108件実施（うち空家と思われるもの26件）</li> <li>・ 今後、空き家の利用状況・ニーズを把握し、空き家バンクの登録など空き家の利活用につなげる（吉津地区）。</li> </ul> </li> </ul>
-------------	--	---	---

		<p>○ シルバー人材センターと連携した空家管理サービス事業の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家所有者への情報発信</li> <li>・ふるさと納税返礼品への登録</li> </ul>	<p>空家基準を策定</p> <p>○ シルバー人材センターと連携した空家管理サービス事業の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターの業務内容を空家所有者等へ案内中</li> <li>・ふるさと納税返礼品への登録については見定め中（ふるさと納税返礼品の基準見直し等の影響など）</li> </ul>	<p>○ シルバー人材センターと連携した空家管理サービス事業の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5 未着手</li> </ul>
<p>運営目標</p>	<p>④</p>	<p><b>【施策】</b> ふるさと納税を通じた地域の魅力発信（地域ブランドプロモーション）の強化</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p>○ ふるさと納税寄付額 R4 1億85百万円 → R5 3億円</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>○ 返礼品の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品を中心とした返礼品の増加（FB社と共に事業者開拓、交渉等を実施）</li> </ul> <p>○ 商品の魅力化、価格の適正化等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付動向等のデータ分析等による価格の適正化の実施</li> <li>・画像の魅力化、記載内容の変更等による商品の魅力化の実施</li> </ul> <p>○ 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーターづくり</li> <li>・ポータルサイトの充実（SNS、メルマガ等による発信）</li> <li>・ふるさと納税を通じた地域の魅力発信</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <p>○ ふるさと納税寄付額（申し込みベース） R4 1億85百万円 → R5.9 94,597千円 （目標の約32%の達成水準） （R4.9 39,583千円） ※対前年同期比：約2.4倍</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <p>○ 返礼品の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品を中心に返礼品の増加 97品造成（R4計：128品） （うちモノ返礼品77品、旅行関連返礼品20品）</li> </ul> <p>○ ふるさと納税返礼品の魅力化、価格の適正化等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付動向等のデータ分析等を踏まえた返礼品価格の見直し実施予定（検討中）</li> <li>・返礼品のサムネイル画像魅力化、サイト上の記載内容の変更等による商品の魅力化 ⇒29件実施</li> </ul> <p>○ 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター獲得…ポータルサイトでの広告配信実施、メルマガ配信予定、御礼状リニューアル、寄附金控除オンラインワンストップ導入を実施</li> <li>・SNSによる納税返礼品や地域の魅力発信を実施</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <p>○ ふるさと納税寄附額 <b>【実績】</b> R5 2億20百万円（目標の約73%の達成） R4 1億85百万円 ※対前年比：約1.19倍</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <p>○ 返礼品の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品を中心に返礼品の増加 149品造成（掲載準備中含） （参考：R4計：128品）</li> </ul> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノ返礼品116品</li> <li>・体験型返礼品33品（内宿泊関連25品）</li> </ul> <p>○ ふるさと納税返礼品の魅力化、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返礼品のサムネイル画像魅力化、サイト上の記載内容の変更等による商品の魅力化 ⇒30件実施（変更等調整中も含み）</li> </ul> <p>○ 情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター獲得…ポータルサイトでの広告配信実施、メルマガ配信（楽天）、御礼状リニューアル、寄附金控除オンラインワンストップ導入を実施</li> <li>・SNSによるふるさと納税返礼品や地域の魅力発信を実施 ふるさと納税関連の投稿 インスタ 73件 Facebook 73件</li> </ul>

2	<p>地域コミュニティ、市民協働（「地域コミュニティが充実し、人が元気で輝けるまち」「様々な立場の人々が一緒に、互いの理解・尊重・信頼で、みんなが活躍できるまち」を目指して）</p> <p>【若者が住みたいまちづくりプロジェクト/住みたい、住み続けたいまちづくり】</p>	 <p>企画課企画政策係、移住定住・魅力発信係</p>	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 地域コミュニティの充実と地域において様々な立場の人が協働して活躍するまちの構築</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 課題解決に取り組む地域・団体数 7地域・団体 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元：4地域・団体（3大学）（-） ⇒R7：8地域・団体（5大学）（3地域おこし協力隊）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決型地域おこし協力隊による取組支援を継続（上宮津地区）（通年）</li> <li>・まちづくり補助金による市民団体等の活動支援、コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援、地域会議補助金等による地域会議の活動の支援（通年）</li> <li>・エリア連携構想や地域コミュニティのあり方の議論と併せ、地域会議の今後のあり方を検討（体制・目的の見直し）</li> <li>・大学等連携事業による地域課題解決への取組支援（通年）</li> </ul>		<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決型地域おこし協力隊による取組支援を継続（上宮津地区） ⇒上宮津地区に隊員1名を配置</li> <li>・まちづくり補助金による市民団体等の活動支援 ⇒8/28事業審査会を実施。5団体の申請を採択。</li> <li>・コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援 ⇒（R5実施）2件（宮本/銀丘自治会）支援 （R6申請）取りまとめ中（R5.9末）</li> <li>・地域会議補助金等による地域会議活動の支援 ⇒7地域会議（宮津中部/宮津西部/上宮津/由良/養老/日置/日ヶ谷）への交付を決定</li> <li>・エリア連携構想や地域コミュニティのあり方の議論と併せ、地域会議の今後のあり方を検討（体制・目的の見直し） ⇒未実施</li> <li>・大学等連携事業による地域課題解決への取組支援 ⇒日置地区において新規事業検討中（京大）</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b> 課題解決に取り組む地域・団体数 1地域・団体</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決型地域おこし協力隊による取組支援を継続（上宮津地区） ⇒上宮津地区に隊員1名を配置</li> <li>・まちづくり補助金による市民団体等の活動支援 ⇒5団体を支援</li> <li>・コミュニティ助成金による自治会等のコミュニティ活動の支援 ⇒（R5実施）2件（宮本/銀丘自治会）支援 （R6申請）6件申請 →3件採択（白柏/杉末/波路自治会）</li> <li>・地域会議補助金等による地域会議活動の支援 ⇒地域会議（宮津中部/宮津西部/上宮津/由良/養老/日置/日ヶ谷）への交付を決定</li> <li>・エリア連携構想や地域コミュニティのあり方の議論と併せ、地域会議の今後のあり方を検討（体制・目的の見直し） ⇒地域会議交付金・補助金の令和6年度からの見直し（対象団体の拡充・交付金の廃止）を実施</li> </ul>

3	海の活用（「宮津の海の資源を活かした魅力的な海のまち」を目指して） 【宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト/地域経済力が高まるまちづくり】	  企画課文化スポーツ振興係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> ブルーオアシスエリア拡大による地域経済の活性化</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数の増加 R元：46.2万人⇒R5：48.8万人 [第7次宮津市総合計画数値目標]</li> <li>栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数 R元：46.2万人 ⇒ R7：50.8万人</li> </ul> </p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b>            〈関係者の連帯感の創出〉           <ul style="list-style-type: none"> <li>宮津田井海まちフェスタの開催（島崎エリアのイベント等と連動）</li> <li>関西万博500日前イベントの開催（11月30日（木））</li> <li>事業者連携による「行く目的」を作るためのコンテンツづくりの促進</li> <li>みなとオアシスたいみやづの拡大（構成施設の増）</li> </ul> </p> <p>〈連携事業の企画・実践〉           <ul style="list-style-type: none"> <li>宮津湾へのみなとオアシス拡大に向けた、地元関係者や港湾管理者等ステークホルダーとの協議体（宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会）への参画</li> <li>「京のみなとオアシス連絡調整会議」を活かしたPR事業の実施</li> <li>大阪・関西万博を見据えたPRの取組（大阪・天保山港等との連携）</li> </ul> </p> <p>〈田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援〉           <ul style="list-style-type: none"> <li>田井宮津ヨットハーバーの環境整備（揚降機操作盤改修ほか）</li> <li>田井宮津ヨットハーバーの健全な運営体制の確認</li> </ul> </p>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b>            〈関係者の連帯感の創出〉           <ul style="list-style-type: none"> <li>12/17 第3回宮津田井海まちフェスタ開催予定</li> </ul> </p> <p>〈連携事業の企画・実践〉           <ul style="list-style-type: none"> <li>9/20 企画連絡調整部会を開催 各事業者からの近況・取組の報告、第3回海まちフェスタ実施に向けての検討・意見交換</li> <li>みなとオアシス関連イベントへの出展予定 10/21：京都舞鶴ベイサイドフェスタ 11/11：ふしみなーとフェスタ2023 （産業経済部・観光協会の協力）</li> <li>8/9 京のみなとオアシス連絡調整会議 参加</li> <li>8/2 宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会参画</li> </ul> </p> <p>〈田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援〉           <ul style="list-style-type: none"> <li>田井宮津ヨットハーバーの環境整備の実施 揚降機ウインチ操作盤取替、旧水産加工販売施設撤去工事（工事は終了済）</li> <li>8/28 運営状況確認のため実地調査を実施</li> </ul> </p>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b>            栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数の増加            R元：46.2万人⇒R5：28.6万人(48.8万人)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b>  <b>◆関係者の連帯感創出・エリアのマネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3回宮津田井海まちフェスタ 12/17開催 約400名来場 （栗田漁業生産組合田井事業所の鮮魚販売が初参加）</li> <li>田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会（3/29）及び企画連絡調整部会（全3回（9/20・10/16・11/22））開催</li> <li>宮津の観光情報誌「旅のかわら版」の栗田地区ページに、田井エリアの情報を一部掲載。</li> </ul> <b>◆連携事業の企画・実践</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>PRに向け、「京のみなとオアシス連絡調整会議（8/9）」「宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会（8/2）」に参画。</li> <li>府内みなとオアシスとの連携にぎわいイベントへ出展。（産業経済部・観光協会協力） 10/21：京都舞鶴ベイサイドフェスタ 11/11：ふしみなーとフェスタ2023</li> <li>大阪・関西万博を見据えたPRの取組（大阪・天保山港との連携）として、3/3第15回MINATO天保山まつりに出展（産業経済部・観光協会協力）</li> </ul> <b>◆田井宮津ヨットハーバーの魅力創出支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備の実施（老朽施設の機能復旧工事） 揚降機ウインチ操作盤取替、旧水産加工販売施設撤去</li> <li>運営状況確認のため実地調査実施（8/28・3/8）</li> </ul>           (R5実績) 駐車場利用台数 8,280台            BBQ施設利用者 552名            グランピング利用者 5,081名            (R4実績) 駐車場利用台数 6,400台            BBQ施設利用者 451名            グランピング利用者 3,506名         </p>	

4	シティプロモーション（「地域の宝(ヒト・モノ・コト)の誇りが育まれ、選ばれるまち」を目指して） 【住みたい、住み続けたいまちづくり】	 企画課 移住定住・魅力発信係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b>          地域資源を最大限に活かした情報発信を強化し、シビックプライドが育まれ、人を惹きつけ、選ばれるまちづくり</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>          市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数： 26万PV突破</p> <p>《参考》 第7次宮津市総合計画数値目標          ・宮津に愛着・誇りをもっている割合          R元：73%⇒R7：100%          ・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数          R元：-⇒ R4：24万PV ⇒ R7：30万PV</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>○ シティプロモーション戦略による市内の情報発信力の強化          ・シティプロモーション戦略「ミラクル」の市内周知          ・「実施計画レベル」へ落とし込み          ※ 専門家派遣等の活用により、市内の勉強会を実施          ・マーケティング手法の活用による、ターゲットに即した情報の発信          （ターゲットを明確に定め、どのような価値を提供するのか、を意識した情報発信の実施）</p> <p>○ 「暮らしの情報」の情報発信強化          ・「暮らし」にフォーカスを当てた記事の作成</p> <p>○ 市民提案型プロモーションの実施          ・フォトコンテストの実施</p> <p>○ 公式LINEのセグメント化          ・セグメント化に係る配信ページ等の作成方針の策定等          （配信すべき情報の分類分け、配信ルール等）</p>		<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <p>○ 市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数          R5目標26万PV突破 → R5.9現在15.2万PV          （目標の約58%の達成水準）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <p>○ シティプロモーション戦略による市内の情報発信力の強化（再掲）          ・SNSによる情報発信力の強化、職員のスキルアップに向けて市内勉強会の実施を検討          （現在、コトカタリ社と調整中）          ・別途マーケティング手法を活用した情報発信力の強化に向けて「移住定住戦略チーム」において市内勉強会を実施予定</p> <p>○ 「暮らしの情報」の情報発信強化          ・宮津の「暮らし」に焦点を当て地域住民の声を掲載した記事(note)の配信実施          ⇒ 現在、「つつじが丘の暮らし記事」を作成</p> <p>○ 市民提案型プロモーションの実施          ・宮津天橋高の「総合的な学習の時間(Safari)と連携したフォトコンテストの実施          (R6.1募集、R6.3にクロスワークセンターで展示、広報みやづ・SNS等で取組発信を予定)</p> <p>○ 公式LINEのセグメント化          ・R5.12からのセグメント配信に向けて事業者調整中          ・R5.8～9担当課で市ホームページの掲載内容点検          ・R5.11広報みやづでLINセグメント配信の取組周知</p> <p>○ 広報広聴アンケート調査の実施          ・住民等の広報広聴に対する満足度、ニーズ調査          ・広報みやづ10月号で周知(回答は紙媒体、Webで回答)し、結果は広報みやづ11月で報告</p>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <p>○ 市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数          R5目標26万PV突破 → 【実績】32万PV          （目標の約125%の達成）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <p>○ シティプロモーション戦略による市内の情報発信力の強化  <b>【実績】</b>          広報・SNS発信研修会開催          内容：広報・SNS発信研修（講習とグループワーク）          37名参加</p> <p>○ 「暮らしの情報」の情報発信強化          ・宮津の「暮らし」に焦点を当て地域住民の声を掲載した記事(note)の配信実施  <b>【実績】</b>「自己紹介記事」          「つつじが丘の暮らし記事」「にっこりあ紹介記事」          「農旅インターン」「燈籠流し花火大会及び宮津おどり」          「お試し住宅記事」「クロスワークセンター紹介」          「休日のおすすめの過ごし方」          「おすすめの写真スポット紹介」          「高校生の探究学習事例紹介」</p> <p>○ 市民提案型プロモーションの実施          ・宮津天橋高の「総合的な学習の時間(Safari)と連携したフォトコンテストの実施  <b>【実績】</b>R6.1募集、R6.3にクロスワークセンターで展示          広報みやづ・SNS等で取組を発信</p> <p>○ 公式LINEのセグメント化  <b>【実績】</b>R5.12よりセグメント配信開始</p> <p>○ 広報広聴アンケート調査の実施          ・住民等の広報広聴に対する満足度、ニーズ調査を実施          ・広報みやづ10月号で周知(回答は紙媒体、Webで回答)</p>

5	<b>公共交通（「誰もが移動しやすいまち」を目指して）</b> <b>【安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり】</b>	  企画課企画政策係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 持続可能な公共交通の確立及びシームレスで移動しやすいまちの実現</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200円バス利用者数 320千人/年</li> <li>・京都丹後鉄道利用者数 1,643千人/年</li> <li>・公共交通空白地有償運送利用人数 1,700人/年</li> </ul> <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200円バス利用者数 R元：340千人/年⇒R7：395千人/年</li> <li>・京都丹後鉄道利用者数 R元：1,580千人/年⇒R6：1,835千人/年</li> <li>・公共交通空白地有償運送利用人数 R元：－⇒R7：1,900人/年</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津ターミナルセンターの長寿命化及びの待合環境や乳幼児向け施設の充実に向けた改修工事を実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>○改修工事の実施（7月～2月）</li> <li>○デジタルサイネージの導入（2月）</li> <li>○改修後の利活用等に向けたワークショップ（9月～12月）</li> </ul> </li> <li>・エネ高事業を活用し、宮津市に適した新たな移動手段等を検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>○実証試験（府中地区）に向けた調整（7月～9月）</li> <li>○実証試験（府中地区）の実施（10月～11月）</li> <li>○令和6年度以降の実装に向けた調整・協議（12月～2月）</li> </ul> </li> <li>・公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた取組の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>○意見交換会開催（8月）</li> <li>○橋北移送サービス運営協議会の日置地区への延伸（10月以降）</li> </ul> </li> <li>・京都丹後鉄道利用促進協議会による活動（通年）           <ul style="list-style-type: none"> <li>○丹鉄こども新聞の発行や中高生向け丹鉄利用団体助成の推進による利用啓発の実施</li> <li>○駅の賑わい創出イベントの開催や利用啓発グッズの活用による利用促進</li> </ul> </li> </ul>		<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津ターミナルセンターの長寿命化及びの待合環境や乳幼児向け施設の充実に向けた改修工事を実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒指名競争入札（1回）、条件付き一般競争入札（2回）を実施し、不成立</li> <li>9月議会追加補正で繰越設定し、条件付き一般競争入札の実施に向け、事務処理中</li> </ul> </li> <li>・エネ高事業を活用し、宮津市に適した新たな移動手段等を検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒グリスロ実証の実施（10/16～11/12）に向けた各種調整を実施</li> </ul> </li> <li>・公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた取組の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒橋北移送サービス運営協議会の日置地区への延伸（R5.11.1～）</li> </ul> </li> <li>・京都丹後鉄道利用促進協議会による活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒丹鉄こども新聞の発行（7月）や中高生向け丹鉄利用団体助成の推進による利用啓発を実施</li> <li>駅の賑わい創出イベント（5/20）の開催や利用啓発グッズの活用による利用促進を実施</li> <li>キハ189系臨時団体列車（10/7～11/19）のおもてなし実施を予定</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200円バス利用者数 312千人/年</li> <li>・京都丹後鉄道利用者数 1,358千人/年</li> <li>・公共交通空白地有償運送利用人数 3,579人/年</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津ターミナルセンターの長寿命化及びの待合環境や乳幼児向け施設の充実に向けた改修工事を実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒R6.3.13 契約締結（工期：R6.3.14～R6.10.3）</li> <li>デジタルサイネージの導入は、明許繰越の上、R6年度に実施</li> </ul> </li> <li>・エネ高事業を活用し、宮津市に適した新たな移動手段等を検討           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒グリスロ実証（日常デマンド運行・観光ガイドツアー・周回シャトル）の実施（10/16～11/12）</li> <li>R6年度に向けた調整等実施</li> </ul> </li> <li>・公共交通空白地有償運送協議会の円滑な運営や満足度向上、利用者の増加に向けた取組の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒橋北移送サービス運営協議会の日置地区への延伸（R5.11.1～）</li> <li>橋北地区交通空白地有償運送の乗降場所等の追加（R6.4.1～）</li> <li>由良地区交通空白地有償運送の運行形態及びダイヤ変更（R6.4.1～）</li> </ul> </li> <li>・京都丹後鉄道利用促進協議会による活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒丹鉄こども新聞の発行（7月、12月）</li> <li>中高生向け丹鉄利用団体助成の実施（4校32件・338名）</li> <li>利用啓発にかかる物品の作成</li> <li>丹鉄フェスタ（4/15,16）のり乗りフェスタ（5/20）、丹鉄鉄印フェスティバル 2023（10/7,8）、万博鉄道まつり 2023（12/9）に参加</li> <li>キハ189系臨時団体列車（10/7～11/19）おもてなし</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施(年3回程度)</li> <li>北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向けたチラシ作成等を実施(6月～2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施⇒10/9、10/12の実施に向け、調整を実施</li> <li>北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向けたチラシ作成等を実施⇒各市町で乗り方教室等を実施(R5.9末3市町)公共交通啓発動画及びDVDの作成を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通へのマインドセット(固定観念)の転換を図るため、高齢者や低年齢層を対象とした乗車体験会の実施⇒10/9 宮津市健康フェスティバルに合わせ実施(大人14人、小人13人参加)10/12 ドラとも in 宮津内のプログラムとして実施(大人15人参加)</li> <li>北部5市2町で連携(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会)し、公共交通事業者の人材確保に向けたチラシ作成等を実施⇒各市町で乗り方教室等を実施(4市町計98人)公共交通啓発動画及びDVDを作成バス運転手確保に向けたPRチラシ原稿を作成</li> </ul>	
6	<b>文化・スポーツ振興(「豊かな心と体が育まれる文化芸術・スポーツのまち」を目指して)</b> <b>【ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり】</b>		企画課文化スポーツ振興係	中間点検(9月)	実績(3月)
運営目標	①	<p><b>【施策】</b>          多彩な歴史文化資源に触れ合う機会の創出と魅力の発信に向けた市民の文化芸術活動の裾野拡大</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 12回/年</li> </ul> <p>[第7次宮津総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 R元：－⇒R7：12回</li> <li>文化団体協議会登録団体の数 R元：33団体⇒R7：35団体</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮津市文化芸術ブランドアンバサダー田中彩子さんとの交流事業の実施(5月29日(月))</li> <li>文化庁京都移転記念事業北部サテライト会場の開催(9月8日(金)・9日(土))</li> <li>KYOTO PHONIE2023の開催協力(10月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝))</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮津市文化芸術ブランドアンバサダーの田中彩子さんとの交流会開催(5/29)           <ul style="list-style-type: none"> <li>第1部：中学生との交流(トークセッション等) 宮津中学校、栗田中学校全校生徒参加</li> <li>第2部：市民合唱団体との交流(合唱指導) みやづkidsハーモニー、宮津女声合唱団、宮津混声合唱団が参加</li> </ul> </li> <li>文化庁京都移転記念事業「きょう ハレの日、」北部会場の開催(9/8・9)           <ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックビューイング、地元伝統芸能等のステージや食文化魅力発信ブースの出店、ライブステージ、ラジオイベント、熱気球・花火の演出など</li> <li>⇒来場者数：延べ約4,500人(2日間合計)</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数：9回</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆宮津市文化芸術ブランドアンバサダー田中彩子氏との交流会開催(5/29)           <ul style="list-style-type: none"> <li>第1部：中学生との交流(トークセッション等) 宮津中学校、栗田中学校全校生徒参加</li> <li>第2部：市民合唱団体との交流(合唱指導) みやづkidsハーモニー、宮津女声合唱団、宮津混声合唱団が参加</li> </ul> </li> <li>◆文化庁京都移転記念事業「きょう ハレの日」北部会場の開催(9/8・9)(※府連携事業)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数：延べ約4,500人(2日間合計)</li> </ul> </li> <li>◆KYOTO PHONIE2023の開催協力(10/7・8)(※共催)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングに浮太鼓(萬町祭保存会)が出演</li> </ul> </li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動活性化事業補助金制度の積極的な活用（12件/年）と情報発信</li> <li>・宮津市文化団体協議会の組織強化及び活動支援</li> <li>・市民文化祭の開催（11月3日（金）～5日（日））</li> <li>・旧三上家住宅・みやづ歴史の館・前尾記念クロスワークセンターMIYAZU・浜町ギャラリーを活用した音楽・文化活動や文化団体等の活動PRの促進</li> <li>・小中学生を対象とした文化芸術体験活動の実施（企画段階から教育委員会と連携）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動活性化事業補助金活用実績 上半期 5件（R4年間実績:11件）</li> <li>・Kaico -参加型アートプロジェクトの実施 8/18より丹後地域で実施中。丹後ちりめんなどの「布」と「糸」を使用し、町の中の様々な形を縫い付け、「町」を表現した作品を作るワークショップ。10/21～11/4に丹後郷土資料館屋外で展示。 ⇒現在までで延べ約260名程度が参加</li> <li>※下半期も引き続き、10/7～SKYOTOPHONIE、11/3～5 市民文化祭、11/11 京都伝統芸能の夢舞台、文化芸術体験活動などを実施し、文化振興の気運醸成に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/8に鳥笛制作&amp;演奏ワークショップを開催（45名参加）</li> <li>◆文化芸術活動活性化事業補助金活用実績 9件 ※音楽・舞踊（演奏等披露）分野：3件 （文化ホール、ととまーと） 美術・写真（作品展示等）分野：6件 （クロスワークセンターMIYAZU、島崎ちしや、浜町ギャラリー）</li> <li>◆Kaico -参加型アートプロジェクトの実施（※府連携事業） ・8/18～11/4まで丹後地域で実施。延べ1,584名が参加。</li> <li>◆宮津市民文化祭の開催（11/3～5） ・芸能祭 16団体出演、延べ596人来場 ・音楽祭 11団体出演、延べ385人来場 ・美術展 109名・197点出展、延べ882人来場 ・歴史資料館特別開館 延べ94人来場</li> <li>◆京都伝統文化の夢舞台への出演（11/11）（※府連携事業） ・宮津市から「寿式三番叟」「竜宮音頭」で市内の子ども達等21名が出演。</li> <li>◆京のかがやき2024への出演（2/24）（※府連携事業） ・宮津市からは、宮津おどり振興会が出演。 （フィナーレには、海の京都DMO主催の「宮津おどり体験ツアー」への参加者も出演）</li> </ul>
<p>運営目標 ②</p>	<p><b>【施策】</b> 「第3期宮津市スポーツ推進計画」の4つの基本目標に基づいた、市民の健康増進とまちの活力を生み出す「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の週1回以上のスポーツ実施率 50% (R9)</li> <li>・公共スポーツ施設の利用回数 9,000回</li> <li>・全国・広域的な大会への出場件数 25件</li> </ul>		<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国・広域的な大会への出場件数 54件</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域スポーツイベントの年間開催回数 5回</li> <li>・広域スポーツイベントの年間参加延人数 2,300人</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツ関係団体連絡調整会議（仮称）」の設置</li> <li>・宮津市スポーツ推進計画策定協議会において、「第3期宮津市スポーツ推進計画」の進捗点検</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都サンガF.C. ホームタウン活動の実施（6月18日（日））</li> <li>・京都サンガF.C. ホームゲーム観戦ツアーの実施</li> <li>・京都サンガF.C. によるサッカー教室の実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアヨットレース大会 OP 級関西選手権の支援（6月10～11日）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業の実施（支援）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市ヨット・スキー教室の開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ DAY の自主開催</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員活動の推進（巡回ニュースポーツ教室の再開等）</li> <li>・親子運動教室の実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4都市スポーツ大会（本市主管）、丹後大学駅伝の開催</li> <li>・広域スポーツ大会への支援</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都サンガ「宮津市ホームタウンデー」の実施（6/18） PR ブースの出展・特産品販売、大型ビジョンでの PR 動画放映、宮津サッカースポーツ少年団のピッチ行進やサッカースクール体験等、市民応援バスツアーを実施。 ⇒総勢約100名が参加（ホームゲーム観戦ツアー、サッカー教室含む）</li> <li>・ジュニアヨットレース大会 OP 級関西選手権ほか広域スポーツ大会への支援 ⇒上半期 6大会</li> <li>・ヨット教室、四都市スポーツ大会などを実施</li> <li>・スポーツ推進委員による巡回ニュースポーツ教室の実施（7/11・7/16・8/5・9/12） ⇒養老地区2回、由良1回、宮津東部・城南部1回</li> </ul> <p>※下半期も引き続き、10/9 市民スポーツ DAY、10/22 スポ GOMI 甲子園 2023 京都大会、11/18 丹後大学駅伝、スキー教室などの実施、ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業支援などにより、第3期宮津市スポーツ推進計画に基づいた「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域スポーツイベントの年間開催回数 8回</li> <li>・広域スポーツイベントの年間参加延人数 3,709人</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「第3期宮津市スポーツ推進計画」の進捗点検及びスポーツ関係団体の意見交換会の実施（3/25）</li> <li>◆京都サンガ「宮津市ホームタウンデー」の実施（6/18） ・PR ブース出展、PR 動画放映、ピッチ行進&amp;サッカー教室（サッカー少年団）、市民観戦ツアーの実施。総勢約100名が参加。</li> <li>◆ジュニアヨットレース大会 OP 級関西選手権ほか広域スポーツ大会への支援 ・ビーチバレー、ソフトボールなど、計8大会を支援</li> <li>◆ジュニアスポーツ育成チャレンジ補助金による支援 ・3団体（ヨット、ウエイトリフティング、レスリング）の活動を支援。</li> <li>◆少年少女スポーツ教室（ヨット）の開催（6/18） ・17名が参加。（スキー教室は積雪不足のため中止）</li> <li>◆市民スポーツ DAY の開催（10/9） ・市、スポーツ推進委員、スポーツ協会、実践活動センターとの共催、ラジねえ、京都サンガF.C. の協力により実施。約160名が参加。（「SOMPO ボールゲームフェスタ」不採択により自主開催）</li> <li>◆スポ GOMI 甲子園 2023 京都大会の開催協力（10/22） ・例年、京都市内で開催されていた大会の誘致（初の宮津市開催）府内高校生22チーム（3名1チーム）が参加。</li> <li>◆スポーツ推進委員による巡回ニュースポーツ教室の実施 ・延べ104名が参加。7回実施。（養老（7/11・9/12）、由良（7/16）、東部・城南部（8/5）、日ヶ谷（10/15）、日置（2/14）、吉津（3/27））</li> </ul> <p>※1/28 実施予定の四都市スポーツ大会冬季大会（本市主管）は積雪不足のため中止となった。</p>
--	---	--	--

7	計画の進捗管理	企画課企画政策係 財政課予算係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 第7次宮津市総合計画推進施策を着実に実施する。 H30 策定の「財政健全化に向けた取組み」の検証</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画基本計画の改訂を実施</li> <li>・第2期宮津市総合戦略の改訂を実施</li> <li>・エリア連携構想に向けた話し合いを市内全地域で進展</li> <li>・「財政健全化に向けた取組み」の5年間（R元～R5）の取組みの検証と健全化効果の見える化</li> <li>・「財政健全化に向けた取組み」のR6以降の方針策定</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催（8月、12月）</li> </ul> <p>・第7次宮津市総合計画実施計画の修正（8月、3月）</p> <p>・第7次宮津市総合計画基本計画の庁内点検、見直し（9月～2月）</p> <p>・第2期宮津市総合戦略のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した見直し（9月～2月）</p> <p>・第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催（年2回。9月、12月）</p> <p>・エリア連携構想策定に向けた地域との意見交換会、ワークショップの開催（1地域当たり年2～3回。6月末～3月） ※市長、学識経験者と一緒に地域に入って、意見交換を実施（6月末～7月）</p>		<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催 ⇒オータムレビューとして10/16～10/30に実施予定</li> </ul> <p>・第7次宮津市総合計画実施計画の修正 ⇒実施済み（8月）</p> <p>・第7次宮津市総合計画基本計画の庁内点検、見直し ⇒オータムレビューの実施に合わせ、各課に依頼済み全協（10/10）で実施を報告</p> <p>・第2期宮津市総合戦略のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した見直し ⇒全協（10/10）で実施を報告</p> <p>・第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催 ⇒令和5年度第1回会議の日程確定（11/13）</p> <p>・エリア連携構想策定に向けた地域との意見交換会、ワークショップの開催 ⇒市民と市長との座談会を開催中（7月～）</p>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画基本計画の改訂を実施 →R5.12改訂</li> <li>・第2期宮津市総合戦略の改訂を実施 →R5.12改訂</li> <li>・エリア連携構想に向けた話し合いを市内全地域で進展 →市内全10地区で市民と市長の座談会を開催</li> <li>・「財政健全化に向けた取組み」の5年間（R元～R5）の取組みの検証と健全化効果の見える化</li> <li>・「財政健全化に向けた取組み」の検証を報告</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7次宮津市総合計画推進本部会議の開催 ⇒組織目標市長ヒアリングとして実施（6月） オータムレビューとして実施（10月） 当初予算編成に係る市長総括ヒアリングとして実施（12月） R6当初予算市長査定として実施（1月）</li> </ul> <p>・第7次宮津市総合計画実施計画の修正 ⇒実施（8月）</p> <p>・第7次宮津市総合計画基本計画の庁内点検、見直し ⇒オータムレビューに合わせ、各課で実施（10月） オータムレビューの結果を受け、見直し案を作成（11月）</p> <p>・第2期宮津市総合戦略のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した見直し ⇒オータムレビューの結果をもとに見直し案を作成（11月）</p> <p>・第7次宮津市総合計画の進捗管理を行う「宮津市総合計画等有識者会議」の開催 ⇒令和5年度第1回会議（11/13）を開催し、第7次宮津市総合計画・第2期宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び見直し等について協議</p> <p>・エリア連携構想策定に向けた地域との意見交換会、ワークショップの開催 ⇒市内10地区で市民と市長との座談会を開催（7月～12月）</p>

		各地域への話題提供 ⇒ 地域の課題把握 ⇒ 共通する課題を地域で共有し、関連する地域と一緒に意見交換 という流れで進めていく。  ・R6 当初予算編成までに、上記の「財政健全化に向けた取組み」の「検証」と「方針策定」を行い、12 月定例会中に議会へ報告	実施済：日置、宮津市街地、吉津、栗田 予 定：日ヶ谷(10/27)、由良(10/30)、養老(11/6) 世屋(12/12)、上宮津(12/13)、府中(12/19)  ・「財政健全化に向けた取組み」の R6 以降の方針策定 ⇒素案策定済。12 月の全員協議会で報告予定	月)し、146 人が参加  ・「財政健全化に向けた取組み」の R6 以降の方針策定 ⇒素案策定済。12 月の全員協議会で報告
8	「第 2 期行財政運営指針」に基づく安定した行財政基盤の構築	財政課予算係、 資産活用係	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	①	<p><b>【施策】</b> 今後の人口減少等を見据えた「持続可能な歳入確保策」及び「行政サービスのあり方」の検討</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 「中長期的に安定した行財政運営」に資する具体策の構築</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な行財政運営有識者会議（外部有識者）による検討の実施 →R4 同様テーマを厳選し、当会議に提案し、助言等を受ける（市民環境部と連携）</li> <li>・予算査定等での見直しの実施 →上記外の個別事業について、予算査定において適宜見直し</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な行財政運営有識者会議 ⇒10 月中に第 1 回開催予定 テーマは未定</li> <li>・予算査定等での事業等見直し ⇒R6 当初予算編成（12 月以降）の中で実施</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体策の構築までには至っていないが、予算編成における事業見直しは一定行えている</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な行財政運営有識者会議 ⇒10 月に第 1 回、2 月に第 2 回を開催 テーマは「原価積み上げ方式に伴う使用料等の見直しについて」など</li> <li>・予算査定等での事業等見直し ⇒R6 当初予算において 13 項目を見直し</li> </ul>
運営目標	②	<p><b>【施策】</b> 使用料・手数料の見直し（原価積み上げ方式による全面見直し）</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「受益者負担の適正化に関する指針」の策定</li> <li>・指針に基づく個別使用料等の改定</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な行財政運営有識者会議」に提案し、意見を徴した上で、年度内の改定（条例等改正）を行うとともに、R6 当初予算に反映</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「受益者負担の適正化に関する指針」素案 ⇒策定済（R4 「有識者会議」で報告済）</li> <li>・指針素案に基づく各使用料等の試算 ⇒完了。 現在、試算に基づく具体の対応案（同種施設間のバランス調整、激変緩和措置の実施有無、市民・市民外の格差設定有無、営利・非営利の取扱い、減免規定の整理等）を検討中</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指針の策定や個別使用料等の改定には至っていないが、持続可能な行財政運営有識者会議を経て議会全協で方向性については報告済み</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「受益者負担の適正化に関する指針」素案 ⇒策定済（R4 「有識者会議」で報告済）</li> <li>・指針素案に基づく各使用料等の試算 ⇒完了。 試算に基づく具体の対応案（同種施設間のバランス調整、激変緩和措置の実施有無、市民・市民外の格差設定有無、営利・非営利の取扱い、減免規定の整理等）の検討途上で年度末に（次年度早期の対応案出しを）</li> </ul>

<p>運営目標</p>	<p>③</p>	<p><b>【施策】</b> 公共施設マネジメントの着実な実行</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 「公共施設再編方針書」におけるフェーズⅠ（R7年度まで）の達成率 R4年度末 33%（34/103件） → R5年度末 60%（62/103件）以上</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庁内検討会議」において各施設所管課のR5達成目標の設定と進捗管理</li> <li>・「有識者等による推進会議」において再編の進捗報告と検証</li> <li>・施設譲渡負担金制度の活用促進</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内検討会議 ⇒座長による部長ヒアを実施し、現状確認と課題共有を行った 今後、フェーズⅡを見据え、再編方針書の間接検証と見直しを実施予定</li> <li>・推進会議 ⇒7月に実施済</li> <li>・施設譲渡負担金制度 ⇒現在活用実績なし。今後の地元調整を注視</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b> R5年度末 60%（62/103件）の達成状況についてはR5決算時に併せて出すことに変更したため未集計</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内検討会議 ⇒座長による部長ヒアを実施し、現状確認と課題共有を行った フェーズⅡを見据えた再編方針書の間接検証と見直しについてまでは実施していない（次年度に継続して実施へ）</li> <li>・推進会議 ⇒7月に実施済</li> <li>・施設譲渡負担金制度 ⇒活用実績なし</li> </ul>
<p>運営目標</p>	<p>④</p>	<p><b>【施策】</b> 民間資金等活用による島崎・浜町ウォーターフロントエリアの再開発</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> R7以降の民間資金等活用事業の公募に向けた「構想計画」の立案</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅を中心に対象エリアを拡大し、民間資金等活用事業可能性調査の実施 ※ヒアリングについては、対象企業の圏域を拡大するとともに、中・小規模の企業にも実施</li> <li>・ヒアリング等を踏まえ実現性の高い構想計画の立案及び公募条件等の整理</li> <li>・構想計画等に関する市民アンケートの実施</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能性調査 ⇒契約済。現在受託事業者によりヒアリング実施中 11月初旬に中間報告会開催予定</li> <li>・構想計画の立案及び市民アンケート ⇒年度内の実施を目指す</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b> ・構想立案までは至っていないが、「エリア活性化の方向性」については議会全協で報告できている</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能性調査 ⇒受託事業者により123社ヒアリングを実施 11月に中間報告会を開催→12月議会全協で報告 1月に最終報告会を開催→3月議会全協で報告</li> <li>・構想計画の立案及び市民アンケート ⇒実施できず（令和6年度予算に基づき実施していくことに）</li> </ul>

<p>運営目標</p>	<p>⑤</p>	<p><b>【施策】</b> 遊休資産の売却推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> R5 当初予算額（10,000 千円）の確保</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定要件を満たす土地については、R5 から実施する「住宅建設促進に向けた最低売却価格の見直し」により、早期売却を促進</li> <li>・遊休資産の情報公開（市HP）及びニーズ調査の充実</li> <li>・公共施設再編（廃止）による新規物件の掘り起こし</li> </ul>	<p><b>【指標を実現するための取組・手段等の進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「最低売却価格の見直し」 ⇒予定物件であった「旧福祉センター」は、7 月に通常の予定価格で売却済。 「旧互助会館」他について、11 月公募予定</li> <li>・情報公開（市HP）及びニーズ調査 ⇒市HP と公共不動産 DB（民間サイト）で公開中</li> <li>・新規物件の掘り起こし ⇒旧日ヶ谷保育所と市営住宅日ヶ谷団地（R6.3 月定例会にて廃止予定）、旧上宮津保育所と上宮津地区公民館（移転予定） 今後、民間活用の方で、方針協議</li> </ul>	<p><b>【達成すべき指標の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧福祉センター：17,100 千円</li> <li>・旧互助会館：1,011 千円 など</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「最低売却価格の見直し」 ⇒予定物件であった「旧福祉センター」は、7 月に通常の予定価格で売却済。 「旧互助会館」は見直し価格に基づき 2 月に売却済</li> <li>・情報公開（市HP）及びニーズ調査 ⇒市HP と公共不動産 DB（民間サイト）で公開</li> <li>・新規物件の掘り起こし ⇒旧日ヶ谷保育所と市営住宅日ヶ谷団地（R6.3 月定例会にて廃止予定）、旧上宮津保育所と上宮津地区公民館（移転）についての民間活用の方での方針協議まではしていない（次年度に継続して実施へ）</li> </ul>
-------------	----------	---	---	--